

のみ民報

2026年
3月8日付

☎57-3487 近藤
F1-2506 佐伯

パワハラ悲劇を二度と起こさないため

に何をしなければ！

能美市は、「風通しの良い職場づくり推進委員会」を立ち上げ、第一回の会議を2月27日に開催しました。委員会の構成メンバーは、座長に井出市長・臨床資格を持つ職員・若手など各部署から9名です。

また、議会として、パワハラ自殺再発防止申し入れを、議長・副議長、議会運営委員会の委員長・副委員長4名が井出市長に行いました。(全文章は裏面)

「」の間の経緯として今回の問題に対し、議会で十分な検討が行われなかったことを残念に思います。

事件は昨年の10月3日に起こりました。しかし、議員には翌年の2月10日、市が記者会見を行う直前に報告を受けたのみでした。質問をすることも禁じられました。その後、全員協議会で「」の問題について「パワハラ防止の特別委員会」を設置し、議会としても議論していく必要があると提案しましたが、「その必要はないやろ」とのことで実現しませんでした。

佐伯はパワハラ自殺を2度と起こさないためにも一般質問はこの問題を取り上げ、市の本気度を問いたいと思います。ほかに市民の皆さんの切実な願いがあるので心苦しいのですが、次回とさせていただきます。皆さんの要求は日常的にご相談させていただきます。よろしく願います。



ちょっと過激なイラストですみません

3月議会に上程される議案は34件です。

そのうち6議案が、議会開会当日に採決されました。

※ 福岡保育園の用地取得に関する議案

※ 市長・副市長の給与改定に関する議案

※ あとの4議案は人事の任命に関する議案の6議案です

パワハラ自殺事件の責任を取り、市長の報酬と副市長の報酬をカットする議案については、総務産業委員会では否決され、本会議で議決されました。採決に反対の議員3名、保留の議員3名、という結果でした。佐伯は保留しました。(責任はとるべきだが、処分内容に関しては承諾できないため)

※ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
ごども子育て支援金の納付に充てるために国保税を増額するといふもの。(目的税である国保会計に目的外支出を容認するもの。これが認められるといふことは、他の支出に関しても拡大される恐れがあるといふことで、認めるわけにはいかないものです)

※ 令和8年度能美市一般会計予算
削られた予算：・高齢者ちよつとのお助け事業(75歳以上の高齢者にちよつとした困りごと支援を行っていた)
在宅支援型住宅リフォーム推進事業(住民税均等割り世帯という縛りを設けたため、利用実績が少ないと廃止)等
11の事業が廃止、8つの事業が縮小されました。
特に、住民福祉に関する事業の廃止・縮小が目立ちます。

一般質問は10日・11日の両日行われます
佐伯議員の質問は11日です。

11日の11番目です。傍聴お願いします。

(いいね、いいねでゴロがいい)



よろしくね♡ 待って

3月8日 国際女性デー

1908年女性労働者が労働条件改善を求めてデモを行ったのがきっかけ。イタリヤではミモザの花を敬意をこめて、男性が女性に贈ったことをきっかけに「ミモザの日」と呼ばれるようになりました。

ミモザは女性の勇気のシンボルです。

